

昭和十九年十月廿一日
（表紙共五枚）

陣中日誌

第五號

獨立混成第一五聯隊第一大隊本部

22547



命 令

國頭郡仲江村役場より本部所掌謝花國民學校に歸還ス

大隊命令

一 各隊ハ十月二ヨリ四日マテ作業ヲ休マシメ兵器整備ヲ實施ス
尚四日大隊兵器検査ヲ實施スル予定ト定メ細部ハ追テ示ス

二 週番司令

陸軍中尉

松村孝一

副官

軍曹

堀田初雄

右自十月二日間預書ノ通リ服務スベシ

三 内務衛兵差キニ中隊ニ関シテ尤通リ心得ベシ

左 記

二日 第二中隊

三日 第一機銃中隊

四日 第二中隊

以下繰返シ

會報

一 十月二日 三日 兩日 理髮師勤勞奉仕來隊ス

休シ各人洗面具携行ノ上散髪ニシテ

記事

一 飛行場設置作業

〇八〇〇—〇九〇〇

二 將校以上株園長訓示

一一〇〇

三 將校以上會食

一二〇〇

四 大隊全員謝花駐在地ニ歸還ス(後發給等勤勞兵ニ名)

一七三〇 伊江島發

一八三〇 渡久地着

一九三〇 謝花着

大隊給養夕食携行食 汁粉加給ス

謝花 三三名 伊江島 二名 計 三十五名

給興人員

月日天候

十月二日(月曜日) 晴

宿營地

謝花國民學校

命令

十月二日 大隊命令

右故高橋義雄平慰ノ為明三日ヨリ二泊三日ノ予定ヲ以テ

那霸陸軍病院ニ出張ヲ命ズ

一 明三日一八〇ヨリ大隊將校ノ會食ヲ実施ス

依テ各隊將校ハ同時迄ニ謝花國民學校ニ集合ニト

ニ字石川ニ凝似腸チヌ患者發生セル付各隊ハ同地附近ニ

立寄ルニト

會報

一 各隊兵器被服ノ手入實施

二 伊江島復發福岡軍曹以下二名歸還ス

三 第三中隊 陸軍上等兵 高橋義雄

那霸陸軍病院ニ公病死ス 電報受領 二〇(一〇)

記事

大隊給興 各人煙草(全瑪)ニ箱加給ス

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

給興

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

電報受領 二〇(一〇)

人員 三十五名

月日天候 十月三日 (火曜日) 晴後雨

指營地 謝花國民學校

命報 一本三日大隊會報、明日二延期

一、各中隊長會同、〇八三〇—〇九三〇

二、大隊長陣地視察、一三三〇—一七〇〇

三、御子神大尉、内雷—大室原間道路補修状況視察

四、第三中隊 高橋上等兵兵長進級

独飛一五日命第七四號
第三中隊 陸軍上等兵 高橋義雄
命陸軍兵長

二、大通報ヲ發ス

給與人員 三十五名

月日天候 十月四日 (水曜日) 晴

指營地 謝花國民學校

一、大隊長第三中隊陣地ヲ視察ス 一三三〇—一七三〇

二、將校會食ス 一八〇〇

三、球情報第三七號ヲ複寫各中隊ニ配布ス

大隊給與 ハナ十一人者、三本加給ス

人員 三十五名

月日天候 十月五日 (木曜日) 晴

指營地 謝花國民學校

天作命
會報
記事

第一大隊命令(別紙其ノ一)

- 一 經理室文庫整理ノ事借用者ニ應全部返納ノ事ト
- 一 大隊長陣地視察 大連京一内方面 一三〇〇
- 二 独渡四回旅行命令第四号ヲ受領ス 一五三〇
- 作命要旨 軍ノ新ニ戰備ノ度ヲ規定セラルニ基キ
- 旅團ノ守備計畫ヲ第六戰備項ヲ改訂シテ號數備
- ヲ教ク
- 三十五号

十月六日(金曜日) 風強ク時々雨

謝花園兵學校

十月六日大隊命令

一日直副官左ノ如ク服務スベシ

九日 樺子神大尉 村中尉

七日 榎本 軍曹

八日 長谷川 軍曹

九日 山田 軍曹

大隊會報

一 暴風警報アルタルニ付各隊警戒ヲ嚴シラセラルト

二 大隊長各隊陣地視察ス 〇九〇〇—一八〇〇

三 市子神大尉名護罪死地會報ニ基テ 〇七〇〇—一七〇〇

独渡五日命令第七七號

一 陸軍大尉 御子神 三代次

右本言名護罪死地會報ニ基テ即日歸隊予定
及子球一八〇〇部隊ニ出テテ命ス

會報
記事

人
命

月日
命

命

三各隊作業停止、新陣地ニ移駐準備
三十五名

十月七日(土曜日) 晴風強シ

謝花國民學校

十月七日大隊命令

一故陸軍軍兵長高橋義雄ノ慰靈祭ヲ別紙ニ通シ執行ス
別紙 (其ノ二)

二爾今休養日ヲ差シ如ク定ム

日曜日 本部 第一中隊 第一機岡銃中隊

水曜日 第一中隊 第二中隊

尚休養日ノ午後各隊トモニ以下ノ外出ヲ許可スルヲ得

八月十三日大隊命令追加

九月十一日大隊命令

陸軍大曹 西川榮吉

右九月十一日ノ患者護送ノ事ヲ那霸陸軍病院ニ移シ
命ス

記事 一慰靈祭執行ノ周知件 陸隊本部ニ報告ス

二大隊長陣地偵察 〇九〇〇一、一七〇〇

三大隊副官陣地駐在地會報出席 〇九三〇一、一三三〇

四左ノ通牒及規程書ヲ受領ス

一兵精勤賞附録ニ関スル件通牒(陸隊本部發)

二人員調査相成件通牒 () 發

三球一八八〇部隊恭祭並遺骨安置ノ周知件通牒
(球一八八〇部隊發)

ノ第三十二軍戦死(傷病死)者並骨還送規程
(第三十二軍司令部通)
ノ北地区慰勞事務所使用規程
(北地区慰勞司令部)

人員 三十五名

月日 十月八日 (日曜日) 晴

所在地 謝花國民學校

記事

一 大隊長陣地偵察 寒水原方面
二 一〇〇〇 西南諸島全地区ニ丙號戰備下令セラルル付
独派一五作命ヲ達スル同作命ニ基テ執リタル處置及如
ノ對監視哨長以下三名ヲ表門ニ立哨セシム
○ 沿岸監視哨ヲ警備防固方衛隊在郷軍人ヲシテ精進
編成準備機軸並ニ立哨セシム
○ 警備隊分隊ノ實施
○ 本學舎待避準備ヲ指導ス
ハ 各小銃中隊
一 一十中隊ノ對監視哨ヲ設置セシム
二 一十中隊ノ對監視哨部隊ヲ準備待機セシム
三 殘余ノ作業ヲ續行シテ待避準備(休養隊休養)
ト 機軸中隊
ノ 高射準備セシム
ニ 高射作業ヲ續行セシム
ナ 概況備狀況ヲ朕隊本部ニ報告ス
独派一五作命第五二號
独三派或第一五取隊命令(一〇ハタ一二〇〇)
一 マリヤナ方面敵機動部隊來襲ノ公算ナリ
十月八日一〇〇〇西南諸島全地区ニ對シ丙號戰備下令セ

未履記事

十月八日一〇〇〇西南諸島全地区ニ對シ丙號戰備下令セ

三

二地區隊對空生海上敵ヲ嚴ニスルハ其對空戰備ヲ強化セントス

三各隊對空對海上敵ヲ嚴シ一部對空射擊部隊ヲ戰斗配置ニ就カシメ主力迅速掩蔽下待避得ル準備ヲナスベシ

四各隊連カ配備狀況並ニ處置ノ概要ヲ電話ニ依リ報告スベシ

人員 三十五名

月日 十月九日 (月曜日) 晴

宿舎地 謝花國民學校

記事 一丙隊戰備ニホケル配置ニ依テ實施

人員 三十五名

月日 十月十日 (火曜日) 晴

宿舎地 謝花國民學校

命令 戰斗詳報中ニ含ム

一〇六五九敵機未襲 第三隊監視哨ノ報告ニ依リ戰闘配
備ニ就ク爾後ノ經過ニ戰斗詳報ニヨル

二第三隊主力並ニ移駐ス 〇六二〇

三不發彈偵察 飯沼伍長以下三名 一七〇〇一ニ〇〇〇
三十五名

月日 十月十日 (水曜日) 晴

人員

宿遷地 謝花國民學校

命令 十月十日 大隊命令

一、第一機関銃中隊給與掛下士官、大室原附近ニ現在集積シタル糧秣、監視ニ任ズル

會報 大隊會報

一、爾今糧秣(特ニ主食)ノ補給ニ當分見込立タルニ依リ各隊ニ之ヲ節用ヲ更ニ強化シテ現地代用食(蕎麥食)ノ換給利用ニ徹底シト

二、各隊ノ守備地區住民ノ家庭ヲ至極設置ヲ督勵スルト共ニ部老望者ノ各隊倚陣地内ニ收容シ軍行動ヲ妨害セサル如ク指導サノミト

記事 一、環境ノ整理

二、戰鬥詳報作製ス

三、不發彈ヲ整理シ、射撃官任員以下三名守備地ニ巡回

人員 三十五名

月日天候 十月十二日 (木曜日) 晴

宿遷地 謝花國民學校

命令 一、大作命第三十号 第一大隊命令(別紙其ニ) 發令

二、七作命第三十号 第一大隊命令(別紙其、四) 發令
情報 一、四二〇 空襲警報發令 球一六二部隊長

一、本日海軍機敵機動部隊攻撃ニ九州方面ヲ決意
飛行場ニ飛来ス友軍機ヲ誤認セバ注意スル
三、敵機動部隊一〇x〇〇ヲ臺灣花蓮港ニ集結
〇八三東ノ右垣島ニ進入 以上電誌

四、空襲警報解除 南西諸島 一四〇〇
直接敵機未襲ヲ認テ依然 球一六二部隊長

五九州方面ヨリ沖繩方面ニカケテ敵機動部隊及毒ノ
我が海軍航空部隊ハ沖繩ニ着陸セザルコトニ変更セリ
尚同方面通過ハ一五〇〇—一六〇〇ニ予定ナリ

記事

- 一 彈薬糧秣 集積個所ヲ嘉津宇部港ニ一部変更ス
- 二 不発弾処理 敵証兵技匠三反六下三名
- 三 大隊長及各家 配属状況視察 一〇〇〇—一三〇〇
- 四 北地ニ駐在地司令官布告文公布 一七〇〇

人員

三十五名

月日天候

十月十三日(金曜日) 晴

宿营地

謝花國民學校

會報

一 別紙配布セル陣地構築中進捗表(五月二〇日、二〇日、二〇日、二〇日)
 二 旬報トシテ五日〇八〇〇名着、如ク大隊本部ニ提出ス
 三 各中隊ハ大隊作命第二十七號ニ基テ新陣地構築中進捗
 状況ヲ要圖ヲ以テ回答セラレタリ
 四 但シ點一〇月五日間ニ着手セルモノ、將末着手セルモノトシテ
 (第三中隊ニ提出ス)

要圖ハ一万分ノトス

提出期時日ハ一〇月一四日—二〇日ニテトス

四 本一三日ニ美施スベキ協力者 配属會議ニ基テ一五日ニ変更ス

細部ハ先ニ規定スル通り

尚五日ニ敵機襲撃アリタル時ニ之ヲ想定ス

一、二五〇、一五三〇、ニ次ニ亘リ石垣島ニ敵艦載機十数機
ノ攻撃ヲ受ク其後ノ上陸状況ハ不明ナリ

三十五名

情報



月日

十月十四日(土曜日) 晴

宿屋

謝花國民學校より一部伊江島に移駐ス

命令

一 独混作命第五五号ヲ基キ

一 大作命第三三三号(別紙五)ヲ發令ス

独混一五作命第五五號要旨

第一大隊ハ直ニ現作業ヲ中止ニ各々露營地附近ニ集結

一七〇〇マテニ渡久地埠頭ニ前進シ人員及資材掛ノ巨所

ニ依リ伊江島ニ前進スベシ

記事

一 大隊副官北地ニ駐屯地發報出希 一〇〇〇—一三〇〇

二 御子神大尉人員及馬ニ搭載料より渡久地埠頭ニ前進ス

独混一五作命第五五号第七項

御子神大尉人員及馬ニ搭載料より曉部隊ト連絡

逐次到着セル人馬搭載ニ任ズベシ

大本部(一部)一階主力 三中队(一部)渡久地發報伊江島ニ前進ス

人員

在謝花九名 伊江島移駐二十六名 計三十五名

月日

十月十五日(日曜日) 晴

宿屋

謝花國民學校より主力伊江島移駐完了 伊江島田村部隊

三角兵舎ニ露營ス

記事

一 部隊主力渡久地發報伊江島着 一〇〇〇

独混一五作命第五六號ニ基キ

露營命令第五七號ヲ發令ス

露營命令第五七號

伊江島

一 第一大隊及二兵中队ハ飛行場附近ニ露營ス

二 各中队ハ中將走路南面西側ニ〇〇木 三角兵舎ニ露營ス

三 部隊日直將校及直轄對望監視哨(下士一兵四)ヲ第一

隊第二中队 二兵中队ノ建制順ニ任ズベシ

對空監視哨、位置ニ就キテ、現地ニ於テ指示ス

四、第一機関銃中隊及二兵中隊ニ、建副順ニ表出シタル一隊ハ、對空射擊部隊トシ、△82高地附近ノ枯林ニ常時對空射擊ヲ準備スベシ

五、諸勤務ノ交替ハ、一〇〇トヲ

六、別命ノルマテ、兩機関銃トシテ、空襲警報發令ニ際シテ、サイレン及伊三村國民學校望樓上ニ赤旗ヲ及テ示ス

七日釋時限ヨリ、如ク定ム

夜亦々日朝英呼「〇〇」 會報 一七〇〇

日夕英呼「ニ〇〇〇」 消燈 二一〇〇

八、給與自衛、第一中隊、中隊中隊トシ、他ハ大隊中隊トス

依テ各隊ハ、夜中隊中隊ヲシテ、兵一（一隊、一隊、一隊）トシ、夜中隊中隊ヲシテ、兵一（一隊、一隊、一隊）トス

九、飛行場附近ニ監視哨ヲ設ケ、夜中隊中隊ヲシテ、兵一（一隊、一隊、一隊）トス

機関銃一五作命、第五五号要旨

第一大隊及二兵中隊、飛行場附近ニ監視哨ヲ設ケ、夜中隊中隊ヲシテ、兵一（一隊、一隊、一隊）トス

飛行場附近ニ監視哨ヲ設ケ、夜中隊中隊ヲシテ、兵一（一隊、一隊、一隊）トス

各大隊、兵一隊、夜中隊ヲシテ、夜中隊中隊ヲシテ、兵一（一隊、一隊、一隊）トス

二、各隊ハ、對空監視哨ヲ至嚴ナラシムベシ

諸隊ハ、兵器彈藥糧秣資材等一切ヲ洞窟内ニ分散格敵シ、砲爆撃ニ對シテは損害ヲ絶無ナラシムル如ク準備スベシ

記事

一、大隊副官、飛行場大隊ト兵舎其他各隊ト事務連絡

二、各隊ハ、防空施設強化ヲ實施セム

三、中隊大隊人員塔敷却下ニ處

四山口一等兵退院ス

五對空射擊部隊撤收

二〇三〇

本題記事

一、西號戰備解除、西南諸島一九三〇敵機部隊
攻撃ノ算ナキニシテ

二、独派一五作命第五七號要旨

軍令第一五〇一九三〇西號戰備ヲ解ク

第一大隊及工兵中隊主力、現十六日以降飛行場大隊
ノ飛行場整備作業ニ協力スル

実施ノ細部ニ関シテ飛行場大隊長ト協定スル

飛行場大隊長、飛行場整備作業ニ協力スル第一
大隊、各中隊及工兵中隊ニ対シテ徵用者一〇〇名ヲ配属

セシムル

倫與

西村部隊、倫與ニ受ク
在謝表 五名

計三十一名

月日天候

十月十六日 (月曜日) 晴

前地

伊江村山山部落三角兵舎

大隊會報

一、各隊ノ引續キ防空施設、強化明後日全面的ニ飛行場
整備作業ニ協力ス

協力要領ニ就テ明日指示ス

記事

一、大隊司令官、飛行場大隊長ト作業實施ノ細部面ニ協定

二、西澤大尉連絡ニ來隊ス
〇九〇〇—二〇〇〇

三、大隊長、隊隊長ト連絡ス

四、第三中隊ヲ大野中尉以下ノ小隊對空射擊部隊整備

セシム

本題記事

独派一五作命第五九號要旨

今般長ニ待從武官坪島文雄中將ヲ第三十二年完成

一一〇〇

実視為十月十六、十七日中差遣トラセラル

聯隊ハ丙號戰備ニ移行シ對空對海上警戒ヲ至嚴

ナラシメタル

第一大隊ハ對空警戒ヲ至嚴ナラシムルト共ニ伊江島南西

海面ハ對潛警戒ヲ至嚴ナラシムルト共ニ第一師又ハ對空射

撃ノ態勢ニラシムル

五、防疫給水班ヨリドラム罐三十五本分給水ヲ受フルトニ決定

奉返起事 独浪五作命第五七號要旨

防疫給水班長ハ全力ヲ以テ第一大隊及二兵中隊ハ給水ニ

任スル

六、電話設備ス 聯隊本部一大隊間 一一〇〇

七、下士官志願者兵士ヲ建設セシムル

独浪一五日命第八三號

吉田 兼次

茅 茂樹

塚越 潤

渡辺 正次

望月 儀一

梶原 邦夫

原 都三

命陸軍兵長

(一〇、百付)

八、菊地衛生伍長謝花ヲ伊江島露地ニラシム

給典 一、西村部隊ハ給典ヲ受テ夕食ヲ大隊給典ハトス

二、給水班ヨリ炊事用三本各中隊一本宛一中隊四本懸ル

人員 在謝花四名 在伊江島 二二名

十月十六日(火曜日) 晴

伊江村山山部落三角兵舎

指定地

記事

一伊江島在大隊人員表 聯隊本部提出

〇八〇〇

二大隊長 聯隊長より新配備計画ニ就キ指示セラル

三中子神大尉及各中隊長 聯隊本部ニ集合 聯隊長より

新配備計画ニ就キ説明セラル

一ニ〇〇〇

四東江上部落ニ兩宮軍曹以下各中隊長 較量班先行セシム

一三二〇

五後送彈薬處理ノ事 大隊本部渡辺伍長各中隊長より

下士以下〇名 様相ニ主ル

一六〇〇—二四〇〇

給與

大隊給與ニシテ 中隊長ノ独ニ炊事

給水班より上ラ罐三十五本受領

人員

三十五名

月日

十月十八日(水曜日)晴

露地

伊江村 山田部落 三浦兵舎

一 大隊、明十九日各隊、伊江村東江上地ニ前進シ、大、較量者準備スル所ニ依リ宿営スル

大隊、任務及各隊ノ陣地配備ニ就キ、後刻指示ス

二 各中隊長、明十九日四〇〇伊江村役場ニ集合スル。此間

及筆記具携行服装ノ略装ス

記事

一 後送彈薬を受取分 散集積、夕度辺伍長各隊下士

以下〇名 様相ニ主ル

〇八〇〇—二〇〇〇

二 各隊、宿営準備

三 東江上部落ニ較量、為兩宮軍曹及各隊下士以下

三名主張

〇九〇〇

四 對空射撃部隊及對空監視隊撤收

一ニ〇〇

参考記事、駐屯地撤収

〇六二〇

南西諸島全地

亦一六二部隊長

敵機動部隊攻撃ノ算キリ依ル

五、奥津任長以下二名 後發者ト連絡スル謝花三長トシ

衛生 傳染性ノ次生助患者多シ

一三〇〇

伊江島風三病ノ如シ

謝花六名 伊江島 三〇名

人員

月日天候

十月十九日(木曜日) 晴

宿營地

伊江村山山部落三角兵舎

命令

独浪一五作命令第六号ニ基キ

本取事

一大作命令第三十四號(別紙六)ヲ下達ス
独浪一五作命令第二号要旨

一、聯隊旅団命令ニ基キ舊態現方ニ復歸セントス

二、第一大隊ノ兵器彈藥ヲ精査シ其ノ不足ニ二〇日以降

伊江島山山部落ノ人員及材料ヲ檢査シ指示ヨリ本島ニ送

記事

一、各隊ト東江ニ移駐準備ヲ取リ又復歸準備

二、大隊副官及渡口任長以下三名並ニ各隊ヨリ下士官以下

人員

五名ヲ復舊準備ノタメ各宿營地ニ先發セシム
在伊江島二八名 七謝花八名

月日天候

十月二〇日 (金曜日) 晴

宿營地

伊江村山山部落落三角兵舎ヨリ本部町謝花國民學校ニ

復歸ス

記事

二、本部舊宿營地ニ歸還ス

伊江島發 一一〇〇

渡之地首 一一〇〇

謝花着 一三三〇

三、本部中子神又尉以下二名及經理室福岡軍曹以下五名

残勢整理、為待留セシム

三大隊副官各隊揚陸指導、タマ埠頭ニ生戻

四等中隊丹志堅國民學校ニ復歸 一九〇〇

人員 在謝花二十九名 在伊江島七名

十月三十日(土曜日) 晴

謝花國民學校

一、去ル一日実施スルヤ、所伊江島移駐ニテ取上タル所

力者、新配土雷ニ関スル部隊及各己長會同ヲ廿四日実施スル

ニ付テ各隊下士官ハ一六〇〇トシニ大隊本部ニ集合ス

ニ、第一大隊ヨリ擲彈筒轉輪紛失セル日連絡アリタルニ付

拾取シタル者、直ニ大隊本部ニ届出スルコト

尚紛失場所、北山城附近、大空京、伊野波、内海道路上

一、第一大隊ヨリ新配土雷ニ關シテ、各隊ニ分給スルコト

三、理髮師勤勞奉仕ニ未隊ス

四、長江下三名ノ對空監視哨ヲ立哨セルト共ニ各隊一々

小隊ノ對空射擊部隊ヲ待機セシム

備瀬具志堅防團防衛隊ヲ三哨、四哨、五哨ヲ岩岸監視

哨ヲ立哨セル如ク處置ス

独張一五作命第六二號 要旨

一、情報ニテハ在支米空軍ハ明三十一日台湾及本土爆

撃ヲ企圖シ各基地ニ於テ準備中ナルモノ如シ

二、第一線大隊ノ明察明以後ニ於テハ戦力ヲ準備スル

在伊江島人員ハ大隊中隊復歸部隊ニ中隊中隊事ニ施

在謝花二十九名 在伊江島七名

十月三十一日(日曜日) 晴

投入

未過重

給與人員

月日天候

宿营地 謝花國民學校

記事 一 第二中隊 舊態勢復歸ス 〇九〇〇

二 第一機筒銃中隊 謝花校に到着一泊ス

三 大隊副官 楊陸指導

四 本部中子神大尉以下五名復歸ス

給與 伊江島大隊 炊事場撤收ス

人員 謝花三四名 伊江島二名

月日 十月二十四日 (月曜日) 晴

宿营地 謝花國民學校

命令 独表三作命第六三號ニ基テ

一大作命第五十五号 (別紙七)ヲ發令ス

一 大隊副官 楊陸指導 由成ヲ準備シ撤收ス

陸軍中尉 緒崎忠

右来ルニ五日 聯隊本部ニテ實施セルニテ戰法研究會ニ

出席ヲ命ズ

會報 一 明二十四日 大連方面、中隊ニ理長師三名 母共奉仕生張

記事 一 大隊副官 楊陸指導、埠頭ニ出張 〇六〇〇

二 炊事 勤勞員 福岡 草曹以下三名 謝花ニ復歸ス

三 第一機筒銃中隊 旧陣地ニ復歸ス

四 隊員衛生部 見士 菊地 衛生主任 長名 護町ニ出張セル

人員 三十一名 酒各人一合 宛如給ス

給與

月日 十月二十四日 (火曜日) 晴

宿营地 謝花國民學校

命令

十月二十六日 大隊命令

一、陸軍衛生部見習士官

篠原

清

、任 長

菊地

茂

右十月二十三日より泊三日予定ヲ以テ事務連絡多ク名獲町ニ飛来ヲ命ズ

記事

一、不發彈(五〇キロ爆彈)處理ノタメ飯沼伍長以下五名

豊原ニ出張セシム

〇八〇〇

二、大隊長 第 中隊陣地視察

〇九〇〇

三、陣地見守 北菊地伍長名獲ヲ歸隊ス

一三〇〇

四、各已隊ヲ集合セシメ築城協力者配当會議至ニ戦斗考

加可能人員調査令ヲ実施ス 一六〇〇—一九〇〇

五、女子担架班ヲ組織ニ就キ松尾重政中尉ヲ以テ各已隊ニ

指示セシム

一九〇〇

人員

三十一名

(附録・四)

附録

月日天候

十月二十五日 (水曜日) 晴

指授地

謝花國民學校

記事

一、不發彈處理ノタメ飯沼伍長以下三名備瀬海岸

ニ出張セシム

〇八〇〇

二、大隊長 聯隊本部ニ於テ戦法研究會ニ出席

三、中子神大尉ヲ戦法研究會ニ出席セシム

〇八〇〇

参照記事 十月二十五日 聯隊本部ヲ左記如ク連絡

ヲシテ戦法研究會開シ別紙ノ議題ニヨリ末ニ二十五日

〇八〇〇—一三〇〇 聯隊本部ニ於テ實施スベキ付身等

大隊長 第一各大隊ヲ中隊長一名各独立中隊長

ニ参加相成度連絡ス

四、戦斗詳報聯隊本部ニ提出ス

五、空襲被害復舊ノタメ技能者調査ノ件聯隊本部ニ報告

報告

情報

一 強隊附近北東に進出た敵機九九三五 済洲島 未報告
九九三五 西軍空襲警報發令

伊江島 未報告 未報告 未報告 未報告

各隊の軍需品疎開分散の遺漏ナカラ期スヘシ

一〇〇〇受領

人員

三十五名

月日

十月二十六日

宿營地

謝花國民學校

命令

十月二十二日 大隊命令

一 大隊醫務室に左記の通り分屯開教スヘシ
尚之が給與の旨に第三中隊の担任トス

左

人員

陸軍衛生部見習士官

井上 上等兵

山口 上等兵

場所

寒水原 (三中队事務室附近)

開教日時

昭和十九年十月二十八日

診察

(月水) 第三中隊一出張

(土) 第一中隊一出張

第三中隊の從前通りトス

第三中隊

陸軍上等兵 岩田近平

右軍大取扱兵トシ

大隊本部勤務又命々 (十月三十一日付)

會報

一 明治七年の中等學校生徒各隊の陣地構築ニ勤む作業

ヲ要ス

依テ各隊之學生ナルト留意シ過古ニ指導シテ作業

協力員ニト

記事

給與
情報
人員

一中隊學生勤勞作業出場割當會議ニ参加ス
 二大隊長中等學生對ニ講話ニ(大東亞戰況圖)
 三大隊長第一中隊陣地(滿名方面)視察
 四軍犬二匹受領ス
 五御下賜品ニ關スル人員件狀隊本部ニ提出
 各隊独立炊事 煙草三箱(金鷄)加給ス
 一五〇〇羽朝朝基卓三〇〇度方向一三〇〇附近ニ不明機在リ
 三十六名

月日

十月二十七日(金曜日) 晴

病室

謝花國民學校 飯沼伍長

人員

一 隊長格納庫河原精策 飯沼伍長
 二 隊中隊長 謝花 一〇〇〇
 三 各中隊長 戰法研究課題提出 一〇〇〇
 四 大隊長 各隊陣地視察 一〇〇〇
 五 中隊長 謝花 三〇名 (花東水原)四名 (花東水原)一名
 六 中隊長 謝花 三〇名 (花東水原)四名 (花東水原)一名
 七 中隊長 謝花 三〇名 (花東水原)四名 (花東水原)一名

月日

十月二十八日(土曜日) 晴

指令

謝花國民學校 大隊命令

一 本職明子九日ヨリ泊予定ヲ以テ軍司令部ニ出張ス
 不在間大隊指揮ヲ御子神大尉ニ命ズ
 陸軍少尉 藤本孝
 右 十月二十八日 間 巡警將校服務スル

三 第二隊陸軍上等六級正代
右軍大士上ニ大隊本部勤務ヲ命ズ (十月廿六日附)

會報 大隊會報

一 明治三〇日地且駐在地會報ヲ呈置ス

二 敬禮ノ嚴正未ダ充分ニナリ特ニ直屋上官ニ對シ

実行報告ヲナサルモノアリ爾今斯ルモノ其場ニ處罰ス

如事

一 大隊副官北地駐在地會報出部一〇〇〇一ニテ

人員

彈藥格納庫(洞窟)作業 飯沼兵技伍長以下三名
三十五名(在謝花) 一名(大壺原)

月天候

十月二十九日 (日曜日) 晴

宿營地

謝花國民學校

加事

一 大隊長に「旅演習見學ヲ為那期市生派々」ニテ

海習別隊討回ニ基キ見學ニスベシ

二 渡辺伍長以下二名軍馬受領ノ多ク羽地ニ出張ス

六七〇

三 獨派一五日命ヲ第九十号隊前

軍馬受領ノタメ〇〇左記人員ヲ隊前

差出シ杉浦中尉ヲ指揮ヲ受ケレムベシ

帶到長袴卷脚祥トシ細紐若干ヲ携行スベシ

左記

第一大隊 二名 以下省略

三 大隊醫務室ニ於テ第一隊員統中隊ノ月例身體検査ヲ

實施ス 三六名

月天候

十月三十日 (月曜日) 晴

人員

宿營地

謝花國民學校

會報

各隊轉運者携行七兵器品目並命辨月日氏名ヲ

明細ニ記載シ明會報時ニ提出ス

二 五十月五日附ヲ蠅取週間トス 依テ各隊共蠅ノ

徹底的撲滅ヲ圖ル共ニ毎日其ノ成果ヲ醫務室ニテ

通報ノ下

三 第一隊同銃中隊ニ臨時軍馬清風ヲ配當ス

記事

一 彈藥糧秣集積所設備作業

二 軍馬三頭受領ス

〇九〇〇

參照記事 秋浪ニ五日命第九ニ號第一項

臨時軍馬二十四頭於因ヲ配當セラル依テ十月

三〇日各隊ニ配當ス各隊ノ所要ノ兵力ヲ差支シ配當

馬支付ヲ受ケル 配當已分左ノ如シ

左記

人員

三十六名

日天候

十月三十一日(火曜日) 晴

宿營地

謝花國民學校

記事

一 彈藥糧秣分散集積所設備作業ヲ実施ス

二 築城協力者ヲ休務セシム

參照記事

独浪ニ五聯隊ニテ今日會報

十月廿日十月日兩日農作物植付ニ各隊協力者休務セシム

三 日地ニ駐在也會報ヲ實施ス

四 大隊副官兵元備敵各線視察一四〇〇—一五〇〇

五 厩設備ス

衛生

采部醫務室ニ於テ第三中隊ノ月例身體検査ヲ實施ス

七 勝俣上等兵、兵長ニ進級セシムラル

昭和十九年 至十月廿日

宿營陣地構築進捗状況



鈴木上等兵以下四名陸軍兵精勤賞附與セラル	参照記事 独表一五作命 第九十三號	一兵精勤賞別紙一通附與之 (十月三十日附)	別紙 第一大隊本部 陸軍上等兵 鈴木兼波	別紙 陸軍上等兵 佐藤定吉	別紙 陸軍上等兵 佐野仙太郎	別紙 陸軍上等兵 佐野俊明	二兵進級二箇之別紙一通心得之 (十月三十日附)	別紙 第一大隊本部 陸軍上等兵 勝俣周吾	陸軍兵長ヲ命ズ	給典 煙草(金鴉)二箇宛加給ス	人員 三十六名 馬三頭(内一頭ヲ第一機筒銃ニ配属ス)	以下餘白
----------------------	-------------------	-----------------------	----------------------	---------------	----------------	---------------	-------------------------	----------------------	---------	-----------------	----------------------------	------

戰術部
等概要

昭和十九年十月至廿一日
戰術部

別紙戰術詳報通り

(2) 駐軍状況

十月日大隊、伊江島飛行場建設作業援助終了を以て謝花
地區に歸還ス

情報推移に即應に糧秣糧秣衛生材料ヲ大室原古島等
水原附近に分散格納ス

至十四日 大隊、旅団、緊急命令に依り伊江島整備及飛行場
整備ヲ十四日主力移駐ス

十五日早朝大隊、伊江島飛行場中着走路南端山山部落
附近三角兵舎及附近民家ニ攻撃スルト共に附近洞窟ヲ利用
兵器彈藥、分散格納ニヨリ損耗ヲ避ケルト共に、取敢不兵舎

連日、軍急行通過清林等三浦手不

第一中隊、東清走路中央西側地ニ三角倉舎ニ分設ス

給水、團ヲ防疫給水部ヨリ一日トラシ、罐三十五本ヲ受領ス

二十日清界ノ變化ニ依リ大隊ノ原守備地區ニ復歸ス

至二十五日 謝花地區

宿營狀況概テ前月ニ同ジ大隊ノ可及的作業ヲ促進シ、陣地ノ

強化ヲ圖リ、對空對上陸戰闘ニ備シトス

特記事項ナシ

二被服狀況

の主食 定量精米六〇瓦 甘藷三〇〇瓦、ナルニ爾後、補給困難ナル

ヲ豫想シ、節米シ、四月ヨリ精米四〇〇瓦ニ減少シ、指示アリタル

中旬伊江島移駐セルルニ時中止 二十二日ヨリ二日間之ヲ實施セル

モ二十四日ヨリ亦六〇瓦ニ復セリ

以副食 補給量概テ從前通りナルニ現地調製生野菜類ヲ減

少加給品ノ狀況左ノ通り

清酒二回(一回一人一合宛) 甘味品二回(一回二〇瓦トス)

伊江島ヨリ復歸後大隊ノ左ノ通り分界ス

第一大隊本部 謝花 (從前通り)

第一中隊 丹老里今泊 (リ)

第二中隊 満名 (民家ニ分宿)

第三中隊 寒水原 (從前通り)

第四中隊 大室原 (民家ニ分宿)

新ニ令在セル第二中隊満名附近民家ニ概テ一戸箇分隊宛分宿

シ、リ環境衛生ニ比較的良好ニテ宿舎保清ニ年更努力ヲ

リ、遂次向上シ、リ、入浴ニ週約二回實施他、水浴トナ

第一機銃中隊、大室原附近ニ駐屯、概テ一戸箇分隊宛分宿

環境衛生ニ入浴狀況等、第一中隊ニ略同様ナリ

大隊本部第一、第二中隊、從前ノ如シ、第二中隊駐屯地満名附近

一級ニ水量豊富ニテ清流及湧水多ク給水便比較的良好ナリ

水質、概テ良好ニシテ硬水ナリ生水飲用ニ最善トス

五給水狀況

四被服狀況

六衛生状況

第一機関銃中隊駐屯地大室京附近ニ井泉水共取テトナク
僅カニ湧出シ四地ノ湧水ヲ濾水機ニ依テ濾過使用シテ給水
比較的困難ナル現況ナリ 水質亦良好ナラズ生水飲用屢禁
シアリ

新患者發生数ノ前月ニ比シ著明ニ減少セリ

本月一三名 其中 主要症患三 痢疾者病 七名

外被病 二名 ハ

前月四七名ニ比シ夫々著明ニ減少セリ

七三三象

謝花地

月間降雨二回ニテ平均晴天多ク 最高気温三二〇度
最低ニ〇〇度ニテ月間平均気温二六・五度ナリ
凡ハ平均南東風ニテ軟風若シク和風多シ

昭和十九年四月廿四日 謝花地構築状況

月間伊江島島嶼準備ノタメ出張セルタメ進捗意ニカセズ
尚旅団守備計画改訂ニ伴フ新設備ニ款アルタメ
實際工事着手セルハ中旬以降ニシテ其ノ進捗状況
ハ第三中隊 第一中隊ヲ除ク中隊ハ微々タルモノナリ
行事進捗状況別表ノ如シ

以下餘白

考佈	庫納格		部設掩		所揮防		地試道抗專		地庫戰所			名稱	區分	形式	數量	作業量	數量	完成	未高	摘要
	特殊庫	彈藥庫	便所	炊事場	棲息掩蔽部	戰車指揮所	監視所	重機関倉	輕機関倉	銃及筒庫	輕便蓋庫									
一〇〇〇第一中隊 二〇〇〇第二中隊 三〇〇〇第三中隊 四〇〇〇第四中隊 五〇〇〇第五中隊 六〇〇〇第六中隊 七〇〇〇第七中隊 八〇〇〇第八中隊 九〇〇〇第九中隊 一〇〇〇〇第十中隊	本庫一	本庫三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	部	部																		
	抗道式	抗道式																		
	3000	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500
	2000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%

別紙

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
各地已駐屯地			將校教育(戰術)	衛生會報	各地已駐屯地	防衛戰鬥	幹部教育(上)			各個教練		各地已駐屯地	
		軍紀教練	軍紀教練	精神訓話	精神訓話			軍紀教練		軍紀教練		中隊內務檢查	
精神訓話					精神訓話	精神訓話	中隊會報					休養日	休養日
					精神訓話	精神訓話	中隊會報					休養日	休養日
兵營檢查					精神訓話	精神訓話	中隊會報			中隊會報		休養日	休養日

一大作命 第二十七號(20)

第一大隊命令

謝。五。九。〇。

一 旅團ノ守備計畫改訂ニ伴ヒ駐隊ハ新ニ北地
區隊トナリ本部半島北半部ノ要地ヲ確保シ
持ニ砲兵ヲ援護ス 又情況ニヨリ伊江島ニ
對スル海上機動ヲ準備ス

二 大隊ハ駐隊ノ左第一線トナリ△255附近ヨリ
屋比久原附近ニ亘ル間ニ堅固ニ陣地ヲ構築
スルト共ニ前地各要點ニ前進陣地ヲ構築シ

敵戦力ノ消耗ヲ計リ以テ敵ノ攻撃ヲ陣前ニ
破碎セシトス

三 第一中隊ハ右第一線トナリ東上原西側地區

——内當北側地區ニ亘リ堅固ニ陣地ヲ構築スル

共ニ北山城趾且志堅南側高地附近ニ約一箇
小隊分ノ前進陣地ヲ構築スヘシ

尚大堂原北側ノ各鞍部及今泊具志堅新里原
北側ノ突出部ニ對シ夫々陣地ヲ構築スヘシ

四 第三中隊ハ中第一線トナリ内當西側高地帯

側高地ニ約一箇小隊分ノ前進陣地ヲ構築ス
ヘシ

尚大堂原西側地區ヨリ屋比久原附近ニ亘ル

一帯ノ山頂及各鞍部ニ夫々陣地ヲ構築スヘシ

五 第二中隊ハ左第一線トナリ262南側地區ニ堅
固ニ陣地ヲ構築スルト共ニ謝花東側附近ニ
約一箇小隊分ノ陣地ヲ構築スヘシ

尚砲兵隊ノ排原附近進出ニ際シテハ全力ヲ
以テ之ヲ接護シ得ル如ク豫メ陣地ヲ構築スヘシ

六 機関銃中隊ハ主トシテ第三中隊ノ戦斗ニ協

カシ得ル如ク陣地ヲ構築スヘシ

尚第一第二兩中隊ノタメニモ少クモ各二銃
分ノ陣地ヲ構築スヘシ

七 第一線中隊ノ戦斗地境左ノ如シ

五 第一第三中隊間 記

内當西側笠松高地——大堂原西側約五〇〇米

ノ二〇〇米閉鎖曲線高地

第三、第二中隊間

・20北側鞍部——渡久地北端橋梁

線上ハ左中隊ニ屈ス

八 各隊ハ夫々担任地区内ニ於ケル砲兵及重火

器ト協定シ之ヲ陣地内ニ援護シ得ル如ク陣

地線ヲ決定スヘシ

九 予ハ謝花ニ在リズ戦備ト共ニ・20大隊戦斗

指揮所ニ到ル

第一大隊長 野崎 大尉

下達法

既布先

報告通報先

命令受領者ヲ集メ口達筆記センタル後印刷交付

各中隊

戦隊本部 第三大隊 平山隊 速射砲中隊 戦隊砲隊
工兵中隊

開列紙

故陸軍軍兵長高橋義雄尉心霊慰小三周ル件

故陸軍軍兵長高橋義雄尉心霊慰小ヲ左

記ニ依リ執行ス

左

記

1. 日時

十月九日〇九〇〇(兩) (順) (延)

2. 場所

謝花國民學校々庭

3. 参列者

各中隊長若シハ將校代
表一名下士官一員兵

代表一名

第三中隊第二小隊長及

4. 服装

第二小隊第二分隊長員
單獨軍装ニシテ勳章徽章
佩用

7

- (一) 敬禮
- (二) 讀經
- (三) 燒香
- (四) 弔辭
- (五) 敬禮
- (六) 解散

以上

委員長 野崎大尉
 委員 齋崎中尉
 委員 水野少尉

一 天作中並天齋

第一大隊命令

敵艦戰機約 二 機來本隊中より

大隊 射撃戰備ヲ強任スルニ

各隊 別命アリテ現前ニ戰備ヲ維持スルニ

予 湖並國民隊等ニ命ジ

大隊 野崎 大尉

下達法 待合室に於て
 各中隊 各隊員
 報告 報告

1

第一 八隊命令
 謝 一〇一四〇
 敵ハ頻々トシテ本部半島上空ニ飛来シアリ
 大隊ハ一部ヲ部署ヲ変更セントス
 第一機関銃中隊ハ主力ヲ以テ謝花高地ニ
 到リ對空射撃ニ任スヘシ
 第二第三中隊ノ主力ハ渡之堀ニ到リ固況
 木尉ノ区處ニ依リ器材運搬消火等ノ任務
 ニ任スヘシ

敵ハ頻々トシテ本部半島上空ニ飛来シアリ
 大隊ハ一部ヲ部署ヲ変更セントス
 第一機関銃中隊ハ主力ヲ以テ謝花高地ニ
 到リ對空射撃ニ任スヘシ
 第二第三中隊ノ主力ハ渡之堀ニ到リ固況
 木尉ノ区處ニ依リ器材運搬消火等ノ任務
 ニ任スヘシ